

平成 27 年度

運営に関する計画

自己評価書

学校協議会資料

大阪市立大淀中学校

総括シート 1

大阪市立大淀中学校

1. 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、年度ごとに大淀中学校「学校教育改善アクションプラン」を策定し、取り組みを進めている。

今年度は「信頼される学校づくり」をテーマに、「学び方の指導」・「自学自習の習慣化」・「授業改善」に取り組んでいくとともに、生徒自らが自信をつけ、自己有用感を高めていく教育活動に取り組んでいく。(平成27年度学校教育改善アクションプラン 参照)

【視点 学力の向上】

○平成27年度学校評価アンケートにおける「学習の仕方を工夫したり、わかりやすい学習に取り組むなど、授業を改善する工夫を行っている。」の数値を70%に向上させる。(カリキュラム改革関連)

○平成27年度学校評価アンケートにおける「自分が努力した過程や結果が適切に評価されている。」の「よく」を10%向上させる。(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

○平成27年度学校評価アンケートにおける「学校は、地域のボランティアを活用するなど外部の人材を活用している。」の数値を10%向上させる。(ガバナンス改革関連)

○平成27年度全国・学力学習状況調査における「将来の夢や目標を持っている。」の数値を70%に向上させる。(カリキュラム改革関連)

○平成27年度学校評価アンケートにおける「学校のきまりや社会のルールを守っている。」の「よく」を10%向上させる。(マネジメント改革関連)

○平成27年度学校評価アンケートにおける「自分の考えや意見を自分の言葉で発表している。」の数値を10%向上させる。(カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】□

○平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣調査」において、特に課題である「長座体前屈」の記録を、平成24年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)

○平成27年度学校評価アンケートにおける「自分の健康に気をつけている。」の「よく」と答えた数値を10%向上させる。(カリキュラム改革関連)

総括シート2

大阪市立大淀中学校

2. 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 平成27年度全国学力・学習状況調査において、国語・数学・英語・理科の平均点を全国平均点以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 平成27年度学校評価アンケートにおける「学習の仕方を工夫したり、わかりやすい学習に取り組むなど、授業を改善する工夫を行っている。」の数値を70%に向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 平成27年度学校評価アンケートにおける「自分が努力した過程や結果が適切に評価されている。」の「よく」を10%向上させる。(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 平成27年度学校評価アンケートにおける「学校は、地域のボランティアを活用するなど外部の人材を活用している。」の数値を10%向上させる。(ガバナンス改革関連)
- 平成27年度全国・学力学習状況調査における「将来の夢や目標を持っている。」の数値を70%に向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 平成27年度学校評価アンケートにおける「学校のきまりや社会のルールを守っている。」の「よく」を10%向上させる。(マネジメント改革関連)
- 平成27年度学校評価アンケートにおける「自分の考えや意見を自分の言葉で発表している。」の数値を10%向上させる。(カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣調査」において、特に課題である「長座体前屈」の記録を、平成24年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 平成27年度学校評価アンケートにおける「自分の健康に気をつけている。」の「よく」と答えた数値を10%向上させる。(カリキュラム改革関連)

3. 本年度の自己評価結果(年度末)の総括

目標別シート1-1【視点 学力の向上】 教科（国語～音楽）

大阪市立大淀中学校

評価基準 A : 目標を上回って達成した

B : 目標どおりに達成した

C : 取り組んだが、目標を達成できなかった

D : ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況
○平成27年度学校評価アンケートにおける「学習の仕方を工夫したり、わかりやすい学習に取り組むなど、授業を改善する工夫を行っている。」の数値を70%に向上させる。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗 状況
取組① 【区分 国 語 科】 各学年ごとに独自プリントを作成する。漢字の小テスト、音読テストを実施する。副教材、音声CDを活用する。(カリキュラム改革関連)		
指標	各テストの結果と学期ごとにノートなどを点検し、アンケートを実施する。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組② 【区分 社 会 科】 T.T. を通じて生徒の理解を深める。(カリキュラム改革関連)		
指標	単元課題を与えて提出させ、生徒の理解の深化を確認する。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組③ 【区分 数 学 科】 自学自習をベースにした「学び方」を指導し、取り組みを進める。 学び合い活動を推進し「わからないところ」を積極的に教え合う学習環境づくりに努める。(カリキュラム改革関連)		
指標	生徒アンケートを実施し、把握する。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組④ 【区分 理 科】 観察・実験について、機会、内容のより一層の充実と、授業方法の充実を図る。(カリキュラム改革関連)		
指標	年間平均して週に1回の観察・実験を実施する。状況に応じて、二人の教員が互いの観察・実験の指導補助に入る。電子機器を有効活用する。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組⑤ 【区分 音 楽 科】 ていねいな説明と学年ごとのプリント、ワークシートを活用し、授業内容の定着を図る。また、各授業での充実感と達成感を実感させる。		
指標	ワークシートを丁寧に完成させる。実技テストでの自己評価をしっかりと分析させ、次につなげさせる。定期テストでの無回答数を減少させる。	
結果と分析		
今後の改善点		

平成27年度 運営に関する計画

目標別シート1-1【視点 学力の向上】 教科（美術～授業改善）

大阪市立大淀中学校

評価基準 A：目標を上回って達成した

B：目標どおりに達成した

C：取り組んだが、目標を達成できなかった

D：ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年 度 目 標		達成状況
○平成27年度学校評価アンケートにおける「学習の仕方を工夫したり、わかりやすい学習に取り組むなど、授業を改善する工夫を行っている。」の数値を70%に向上させる。(カリキュラム改革関連)		

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組⑥ 【区分 美術科】 創造性を育む表現活動の充実を図るために、教科書・資料集以外に自主作成教材を使って指導する。(カリキュラム改革関連)		
指標	作品の完成に向けてきめ細かな指導を行い、個別に製作過程の進度を点検し、場合によっては支援する。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組⑦ 【区分 保健体育科】 基礎的な体力づくりの向上と体育の授業を通して、公正な態度を養う。		
指標	日々の準備運動を徹底し、各種目のルールを理解し、守らせることにより授業の充実を図る。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組⑧ 【区分 技術家庭科】 自主製作教材や視覚教材を使って、細部にわたり指導することで、生徒の理解を深める。		
指標	単元ごとに、アンケートと小テストをおこない、生徒の理解、つまずきを把握し授業工夫につなげる。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組⑨ 【区分 英語科】 習熟度別学習の時間を通して、きめ細かい指導を行う。(カリキュラム改革関連)		
指標	週2回程度は、複数教師で授業を行う。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組⑩ 【区分 特別支援教育】 個別の指導計画を作成し、個の課題に応じた自立支援に努める。		
指標	生徒一人ひとりの個別の指導計画を作成する。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組⑪ 【区分 授業改善】 今年度、本校のアクションプランで掲げている「わかる」「できる」を大切にした授業に取り組むための授業改善策として、ICT機器の活用に積極的に取り組むとともに、生徒の「自己有用感」を高めるために、漢字検定等のライセンス取得に取り組む。(カリキュラム改革関連)		
指標	漢字検定等、ライセンスの取得率を50%以上にする。	
結果と分析		
今後の改善点		

目標別シート1-2【視点 学力の向上】 教科（国語～音楽）

大阪市立大淀中学校

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した

C : 取り組んだが、目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況
○平成27年度学校評価アンケートにおける「自分が努力した過程や結果が適切に評価されている。」の「よく」を10%向上させる。(カリキュラム改革関連)	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗 状況
取組① 【区分 国 語 科】 わからないところを質問できる授業を進める。(カリキュラム改革関連)		
指標	生徒アンケートを実施し、把握する。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組② 【区分 社 会 科】 定期テスト以外のプリント、ノート、その他の提出物を評価する。(カリキュラム改革関連)		
指標	提出の機会を増やし、評価材料を25以上にする。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組③ 【区分 数 学 科】 提出物の点検や単元別テストを行い、学習の過程や到達度の振り返りを深める。(カリキュラム改革関連)		
指標	小テスト・単元別テスト・ノート点検・プリント点検・問題集点検をきめ細かく実施する。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組④ 【区分 理 科】 到達目標を意識した実験、レポートの作成を指導する。(カリキュラム改革関連)		
指標	観察・実験の際に到達目標を示し、その達成状況を毎回の実験後に作成・提出する実験レポートをもとに評価する。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組⑤ 【区分 音 楽 科】 提出物・準備物の点検をする。プリント類、ワークシートを丁寧に仕上げさせる。		
指標	準備物の点検、提出物の点検、ワークシート・プリント類を丁寧に完成させ、忘れず提出させる。	
結果と分析		
今後の改善点		

目標別シート1-2 【視点 学力の向上】 教科（美術～特別支援教育）

大阪市立大淀中学校

評価基準 A : 目標を上回って達成した

B : 目標どおりに達成した

C : 取り組んだが、目標を達成できなかった

D : ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年 度 目 標		達成状況
○平成27年度学校評価アンケートにおける「自分が努力した過程や結果が適切に評価されている。」の「よく」を10%向上させる。(カリキュラム改革関連)		
年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組⑥ 【区分 美術科】	ひとつひとつの作品に対して自己表現の実現ができるよう、資料・課題プリント等をファイルにとじ、作品完成後、自己評価表を記入し、提出する。(カリキュラム改革関連)	
指標	作品完成時に、自己評価表に記録することで、達成感・満足度を確認する。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組⑦ 【区分 保健体育科】	単元ごとに自己評価シートを作成する。(カリキュラム改革関連)	
指標	単元終了ごとに自己評価と取り組んだ感想を確認する。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組⑧ 【区分 技術家庭科】	評価対象や基準を明確にし、努力する目標をもたせる。	
指標	ノート点検、作品の経過チェックをきめ細かく実施し、アドバイスを返すことで次に繋げる。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組⑨ 【区分 英語科】	小テストや課題への取り組み、またノートを書いて理解する過程を複数教師できめ細かく指導する。	
指標	継続的に小テストを実施し、週2回程度複数教師で課題やノートなどの点検を行う。	
結果と分析		
今後の改善点		
取組⑩ 【区分 特別支援教育】	取り組んだ課題の成長は、できた瞬間に伝え、自信を持たせると共に苦手な課題にも挑戦できるよう、心のサポートをする。	
指標	日々の言葉かけ、連絡帳、文章表記を活用する。	
結果と分析		
今後の改善点		

目標別シート2 【視点 道徳心・社会性の育成】 学校運営

大阪市立大淀中学校

評価基準 A : 目標を上回って達成した

B : 目標どおりに達成した

C : 取り組んだが、目標を達成できなかった

D : ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年度学校評価アンケートにおける「学校は、地域のボランティアを活用するなど外部の人材を活用している。」の数値を10%向上させる。(カリキュラム改革関連) ○ 平成27年度学校評価アンケートにおける「自分の考えや意見を自分の言葉で発表している。」の数値を10%向上させる。(カリキュラム改革関連) 	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組 【区分 学校・家庭・地域の連携の推進】 ① 教科学習以外の多様な学びの場を設定し、地域のボランティアの協力を得て、体験による「話」、会得した「技」に学ぶ内容の講座を年間を通して企画・運営する。また言語活動の取り組みにはボランティアを招聘し、図書館活動では、放課後の開館を定着させ、読み聞かせでは、各学年学期に1回の行事を実施する。(ガバナンス改革関連)	
指標 ① 教科学習以外の多様な学びの場を年間3回以上実施する。	
取組 【区分 自己有用感の育成】 ② 表現活動の様々なジャンルの中から、年度計画を立て取り組んできている。今年度は、演劇の鑑賞をとおして、生徒が自らの感性を高め、自己表現力の向上につなげるとともに生徒自らが自信をつけ、自己有用感を高めていく教育活動に取り組んでいく。(カリキュラム改革関連)	
指標 ② 平成27年度学校評価アンケートにおける「自分の考えや意見を自分の言葉で発表している。」の数値を10%向上させる。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

今後の改善点

平成27年度 運営に関する計画

目標別シート2 【視点 道徳心・社会性の育成】 進路

大阪市立大淀中学校

評価基準 A : 目標を上回って達成した

B : 目標どおりに達成した

C : 取り組んだが、目標を達成できなかった

D : ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況
○平成27年度全国・学力学習状況調査における「将来の夢や目標を持っている。」の数値を70%に向上させる。(カリキュラム改革関連)	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組 【区分 キャリア教育の推進】 ① 1年生では、職場訪問、2年生で、職場体験、3年生で、外部指導員による、キャリア体験を実施する。(カリキュラム改革関連)	
指標 キャリア学習を、各学年ともに予定通り行う。	
取組 【区分 小中一貫した教育 の推進】 ② 小学生の中学校への興味関心を高め、不安をのぞく取り組みを行う。(カリキュラム改革関連)	
指標 小学生の模擬授業、部活動見学を年1回行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

今後の改善点

目標別シート2 【視点 道徳心・社会性の育成】 道徳

大阪市立大淀中学校

評価基準 A : 目標を上回って達成した

B : 目標どおりに達成した

C : 取り組んだが、目標を達成できなかった

D : ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況
○平成27年度学校評価アンケートにおける「学校のきまりや社会のルールを守っている。」の「よく」を10%向上させる。(マネジメント改革関連)	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組 【区分 道徳教育の推進】 を取り上げるだけでなく、それらの基盤となっている道徳的な生き方を問題にするといった点に留意し、これに即した読み物教材を用いた授業を重点的に行う。	
指標 読み物教材を用い、上記に該当する授業を年間4回以上行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

今後の改善点

目標別シート2 【視点 道徳心・社会性の育成】 生活指導

大阪市立大淀中学校

評価基準 A : 目標を上回って達成した

B : 目標どおりに達成した

C : 取り組んだが、目標を達成できなかった

D : ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況
○平成27年度学校評価アンケートにおける「自分の考えや意見を自分の言葉で発表している。」の数値を10%向上させる。(カリキュラム改革関連)	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組 【区分 自主活動の育成】 部活動や委員会、生徒会活動を通して、生徒自ら主体的に活動していく機会を増やしていく。	
指標 年間を通じて行事を中心に自分で考え、発表する機会を多くしていく。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

今後の改善点

目標別シート3 【視点 健康・体力の保持増進】 健康教育（1）

大阪市立大淀中学校

評価基準 A : 目標を上回って達成した

B : 目標どおりに達成した

C : 取り組んだが、目標を達成できなかった

D : ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況
○ 平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣調査」において、特に課題である「長座体前屈」の記録を、平成24年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組 【区分 体育科 の授業の充実】 長座体前屈の記録を全国平均に近づける。	
指標 柔軟性を高める運動を継続しておこない、計測し比較する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	

目標別シート3 【視点 健康・体力の保持増進】 健康教育（2）

大阪市立大淀中学校

評価基準 A：目標を上回って達成した

B：目標どおりに達成した

C：取り組んだが、目標を達成できなかった

D：ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況
○ 平成27年度学校評価アンケートにおける「自分の健康に気をつけている。」の「よく」と答えた数値を10%向上させる。(カリキュラム改革関連)	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組 【区分 健康な生活 習慣の充実】 ①保健委員会で、健康的な生活習慣の意識づけを目的とした活動を積極的に行い、生徒一人一人が健康に気を付けるように取り組んでいく。 ②学校保健委員会で、課題解決に向けた具体的な活動の推進をするため、発表の充実に取り組む。 ③食に関する知識を身につけるため、学校給食を生きた教材とし、技術・家庭科(食生活と自立など)など関連する教材と連携し、指導を行う。	
指標 生徒に健康の大切さを学ばせるために、「保健だより」や「食育だより」・「給食だより」などの資料を定期的に発行し、健康意識の向上を図る。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	